

Recruitment Guidance

看護職員募集案内

思いやりのある
看護を
提供します



独立行政法人 国立病院機構

姫路医療センター

病院理念

思いやりのある最善の医療を提供し、患者さんと地域、社会に貢献します。



Challenge
×
Enjoyment



病院の特徴

姫路医療センターは兵庫県中・西播磨医療圏の基幹病院で、地域の医療を支えている病院です。肺がんを主に様々な部位のがん診療、がん看護を担っている地域がん診療連携拠点病院であり、呼吸器センター、消化器センター、高精度放射線治療センター、緩和ケアセンターを有しています。各診療科が安全で、確実で、低侵襲の治療の提供を目指しており、患者さん・ご家族の意向を尊重したその人らしい看護の提供に努めています。特に、病気を抱えながら生活する患者さんの療養の場について、地域との強力な連携を図りチーム医療を積極的に行っています。また、地域の救急医療にも積極的に貢献しており、DMAT活動等多くの経験を積んできています。

呼吸器センター

高精度放射線治療センター

消化器センター

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

兵庫県災害拠点病院

看護部理念

私達は看護を必要とする人の尊厳及び権利を尊重し、専門知識、技術と **思いやりをこめた看護** が提供できるよう最善の努力をします。



地域・人との
つながりを
温もりと笑顔に
変えて



- 看護部目標**
- ① 安全・安心で信頼される看護を提供する
 - ② 主体的に経営に参画する
 - ③ 主体的に学ぶことができる人材を育成する
 - ④ 働き続けることができる職場環境を整備する



病院概要

病床数.....405床(ICU6床、HCU6床)

標榜診療科目.....29診療科(内科、【精神科】、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、【産科】、【婦人科】、【小児科】、眼科、耳鼻いんこう科、リウマチ科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、糖尿病・内分泌内科、頭頸部外科、緩和ケア内科、病理診断科)

【 】は休診中



看護部長
望月 知奈美

「思いやりをこめた看護」を提供できるよう、
職員間での「思いやり」と一人一人が自分を大切にできる
「自分への思いやり」を大切にしています

姫路医療センター看護部は、「私達は看護を必要とする人の尊厳及び権利を尊重し、専門的知識、技術と思いやりをこめた看護が提供できるよう最善の努力をします」という理念を掲げ、地域の方々のニーズに応えられるような看護をめざしております。

地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすべく、病棟・外来・地域をシームレスに繋ぎ、低侵襲治療をはじめ緩和ケアに至る専門性の高い看護実践が提供できるよう取り組んでおります。専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者の活動を推進し、あらゆるニーズに対応できるよう体制を整えると共に、人材育成のための教育体制充実にも力を注いでおります。理念に掲げている「思いやりをこめた看護」を提供できるよう、職員間での「思いやり」と一人一人が自分を大切にできる「自分への思いやり」を大切にしています。

播磨地域の基幹病院として、新型コロナウイルス感染症対策においてもその役割を果たしてきました。これからも地域の皆さまが安心してこの病院を選んでいただけるよう、努力を重ねてまいりたいと思います。

～共に働く皆さんへ～

私達は、看護師としてのキャリア形成を支援するために、国立病院機構として一貫した能力開発プログラムを構築しています。新人看護師として基礎的能力の習得から専門性の発揮へと段階的にステップを踏み、看護の専門性・看護管理・看護教育等、目指す看護に向け一歩ずつ踏み出していけるよう、教育理念・方針のもと支援をしています。

教 育 理 念

病院・看護部の理念に基づき、倫理観に基づいた豊かな人間性と社会性を備え、
信頼される質の高い看護サービスができる看護師を育成します。
また、専門職業人として自己のキャリア開発ができる看護師を育成します。

教 育 方 針

- 1 人の尊厳及び権利を尊重し、自ら看護実践能力の研鑽ができる人材の育成
- 2 変革する医療を取り巻く社会に対応するための病院の経営ニーズを理解し行動できる人材の育成
- 3 看護の専門家としての科学性、倫理観、創造性に基づくケア技術の提供ができ、患者に寄り添うことができる感性をもつ人材の育成



看護単位の紹介

3F

A-3
病棟

呼吸器外科、耳鼻いんこう科、形成外科 **二交替** **7：1**
主に手術療法を中心とした外科病棟です。その他に化学療法、放射線療法など、治療を受ける患者さんの生活を支えられるよう看護を提供しています。

B-3
病棟

呼吸器内科 **二交替** **7：1**
慢性呼吸器疾患では、退院後も自己管理して生活することが重要になります。安全に治療が行えるとともに、退院後の生活を整えられるよう看護しています。

C-3
病棟

循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科 **二交替** **7：1**
緊急カテーテルや化学療法、糖尿病教育入院など求められる看護は多岐に渡ります。よりよい看護を提供するため、他職種と連携し日々精進しています。

D-3
病棟

消化器内科、血液内科 **二交替** **7：1**
がん患者さんの入院が多く、内視鏡治療や化学療法、放射線療法を行っています。患者さんへ分かりやすい説明や苦痛を最小限に安心して治療を受けられるよう副作用の予防に努めながら看護を行っています。

2F

手術室

内視鏡下手術に加え令和元年から手術支援ロボット（ダヴィンチ）を導入し、チーム一丸となり術前から術中、術後とシームレスな看護を提供しています。

ICU
A-2病棟

外科（消化器外科、乳腺外科） **二交替** **7：1** / ICU
急性期～回復期の看護を行い、中でもストマ造設患者さんのセルフケア自立に向け術前～術後、退院後と継続した看護を行っています。ICUはハイリスクな術後患者さん、敗血症や重症外傷等の患者さんを受け入れています。

C-2
病棟

COVID-19 専用病床、救急病床 **二交替** **7：1**
COVID-19専用病床では、軽症～中等症の患者さんを受け入れ、隔離環境の中であっても、患者さんの気持ちに寄り添える看護を目指しています。又発熱外来と救急病床を併設し、有症状者の初期対応から入院まで救急外来と連携しながら行っています。

D-2
病棟

緩和ケア病棟 **二交替** **7：1**
平成31年4月に開棟した緩和ケア病棟です。患者さんの一瞬の笑顔や穏やかな時間を求めて、自分たちにできることを一緒に考えています。また在宅ケアチームの一員として地域と連携したケアを目指しています。

1F

外来

24 診療科
化学療法室、内視鏡検査室、放射線治療室、血管造影室、救急外来、看護専門外来を備え、それぞれの専門性を活かし通院治療をサポートしています。地域医療連携室や病棟、他職種と連携を図り、患者さんが安心して療養出来るように支援しています。

A-1
病棟

整形外科、泌尿器科、眼科 **二交替** **7：1**
手術、化学療法、放射線治療を受ける患者さんの看護を中心に、急性期から回復期までの患者さんの看護を実践しています。他職種と協働し患者さん中心のチーム医療の推進に取り組んでいます。

HCU
C-1病棟

呼吸器内科ほか **二交替** **7：1** / HCU **二交替** **4：1**
気管支鏡検査、薬物療法、放射線療法を受ける患者さんが大半を占めます。HCUは呼吸状態が悪化した緊急入院の患者さんが多く、変化を察知し症状を緩和、不安をサポートできるように実践力を強化しています。

※ **二交替** **7：1** などの表記は勤務体制や看護体制を示しています。



チーム医療

専門知識・技術を生かしたチーム医療で連携の輪を広げていきます



退院調整看護師
森田 弓子

患者さんやご家族に寄り添い、できる限り希望に添えるような療養先を選定できるよう退院調整を行っています。また、患者さんの情報や支援を地域へスムーズにつなぐことができるよう、連携の強化にも取り組んでいます。



がん性疼痛看護認定看護師
永濱 加世子

患者さんご家族に寄り添う緩和ケアチームとして活動しています。痛みなど身体症状への医療的アプローチだけでなく、体と心と暮らしを支え、その人らしく過ごすことができるようお手伝いしています。



がん放射線療法看護認定看護師
池淵 かおり

医師や放射線技師とチームを組み、患者さんの生活の質を保ちながら最善の医療が提供できるよう取り組んでいます。看護師は、副作用を最小限に抑えるケアを患者さん自身が実践できるよう生活を支援しています。



緩和ケア認定看護師
銅山 慶子
神田 智香 (Tomoka Kamada)

患者さん・ご家族との関わりの中で体験する苦痛や症状を捉え、看護実践やカンファレンスを通じてQOLの改善に向けたケア方法を多職種と協力し、看護が実践できるように努めています。



緩和ケア認定看護師 橋本 みさ子
(緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー)

患者さんやご家族に、治療法の決定や療養場所の選択等、生きる希望を支えるケアを提供できるように支援しています。また、切れ目ない緩和ケアの提供が円滑に進むように院内外の調整も対応しています。



緩和ケアチーム



褥瘡対策チーム



内視鏡検査



放射線治療



救急医療



がん化学療法室



医療安全



地域医療連携室



ICT 感染制御チーム



ICT 感染制御チーム



NST 栄養サポートチーム



RST呼吸ケアサポートチーム



治験コーディネーター



救急医療



DMAT



フットケア外来



慢性呼吸器疾患看護認定看護師
藤田 今恵

呼吸ケアサポートチームのメンバーとして多職種と協働しながら患者さんのラウンドを行っています。認定看護師として病気と共に生活をする患者さんの声に耳を傾け、主に息苦しさを軽減するための支援を行っています。



臨床研究コーディネーター
森下原 久美子

「治験は次世代への贈り物」であり、国内の医療の質をあげるため当院ではチームで取り組んでいます。CRCは被験者さんの安全を守りながら治験が適切に進むよう支援し、全体をコーディネートする役割を担っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師
南 奈保子

がん治療をされている患者さんも多く、抗がん剤による副作用で皮膚障害を発症される方もおられます。がんに関わる認定看護師が複数在籍しているため、お互いの知識・技術を持ち寄り、患者さんへより苦痛のないケアが提供できるよう努めています。



がん化学療法看護認定看護師
山本 佳奈

がん化学療法を受ける入院患者さんが安全に治療を受けられるように適切な投与管理や副作用症状に対するケアを行っています。また、退院後の生活を見据え、生活に合わせたセルフケアの方法について共に考え、退院後も安心して療養生活を送ることができるように支援しています。



認知症看護認定看護師 小岩 あすか

認知症看護は、「看護の原点」と言われています。患者さんの継続している暮らしや、その人らしさを大切にしながら看護に取り入れ、患者さんを取り巻く環境を整え、当院での治療を安心して受けて頂けるよう支援しています。また、病棟スタッフと共に、認知症看護について語り合うことを大切にしています。



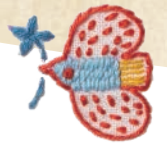
特定行為研修修了者 志水 リカ

特定行為を実施すれば患者さんの状態に応じたタイムリーな医療・看護を提供できます。患者さんの重症化を防げるようチームで関わっていききたいと思います。



感染管理認定看護師 三木 久子 駒田 美和 (Mika Komata)

術後の早期回復のためには創(手術の傷)感染や肺炎などの予防は重要です。また、抗がん剤治療や放射線治療により免疫力の低下した患者さんが治療を継続して受けられるためにも感染予防は重要なため、病院に関わる人全てが適切な感染対策の実践ができる様に取り組んでいます。近年ではCOVID-19の感染拡大防止に感染制御チームが一丸となって対応しています。

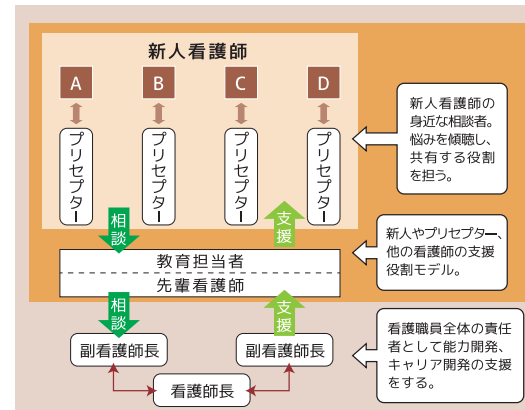


新人看護師

プリセプター・教育担当者を中心に、ひとり1人の看護の体験をサポートしながら成長を支えます

新人看護師支援体制

- TOPIC 01** 各病棟では新人看護師の最も身近な相談者として悩みを共有する役割を担うプリセプターを配置しています。
- TOPIC 02** 各病棟に教育担当者を配置し、新人看護師・プリセプターの教育と看護実践を全面的にバックアップしています。
- TOPIC 03** 先輩看護師・副看護師長・看護師長が協力し、病棟全体で新人看護師を支え、先輩看護師が日々の看護実践の場面を通して、専門職業人としての成長を支援します。



プリセプター (C-1病棟) 藤田 梨花



私はプリセプターを担当しています。私が新人の時も慣れない環境の中で緊張や不安を抱えていました。そこで話しやすい雰囲気をつくり精神的フォローや看護実践の振り返りを一緒にしています。これからも病棟全体で1年目看護師を支えながらよりよい看護が提供できるように関わってまいります。

- 職業倫理・専門職業人としてのマナー・目標管理・時間管理・健康管理・教育体制・看護記録・医療安全・感染防止
- 看護技術研修 (移乗動作・ポジショニング・療養環境)
- 高齢者看護
- IV ナース(レベルI)：静脈持続点滴の管理
- メンタルヘルス・看護のリフレクション

(新人看護師研修年間スケジュール)



- フィジカルアセスメント(呼吸)
- リフレッシュ研修

- 看護技術研修 (静脈血採血、点滴管理、吸引、心電図モニターの管理)

8月

- 急変時対応 (BLS)

6月

- メンバーシップ (仲間作り)

4月

10月

- IV ナース(レベルI)：点滴静脈内注射、輸液ポンプ・シリンジポンプの管理





ワークライフバランス/ キャリアアップ

安心して働き続けられる環境とキャリアアップ できる機会を提供します

ワークライフバランス

充実の制度で、家族の絆が深まる 宗接 将大



私は二児の子供を育てていますが、二人とも妻の出産時に、3週間程度の休暇を取得しました。育児休業だけで無く、妻の出産に伴う休暇や、育児参加のための休暇など、男性が育児参加しやすい制度が充実しています。新生児期の成長が著しい時期を、家族で過ごすことで、妻と共に喜びや苦勞を共有し、家族の絆が深まりました。また休暇中に育児が加わった生活リズムを整えることで安心して、仕事に復帰することが出来たため、メリハリのある生活を送ることが出来ています。

家庭と育児を両立 泉 晶子



当院は育児支援制度が整っており、一人目の職場復帰のときから育児支援制度を利用しています。現在3人の子供を育てながら病棟で働いています。病棟のスタッフの支えと一緒に働くママナースの姿を励みに日々楽しく仕事ができています。

キャリアアップ

キャリアアップが充実 藤田 今恵



当院に看護師として就職後、呼吸器疾患の患者さんの在宅支援をしたいと思い、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得しました。その後、当院の特定行為研修を受講し、あらかじめ医師が定めた手順書に準じて、主に呼吸器疾患患者さんの看護介入につなげています。まだまだ未熟者ですが、患者さんのより良い生活、笑顔につなげられるよう、多職種と協働しながら活動しています。

異動後もキャリアアップを継続 野崎 さつき



私は大阪医療センターから異動してきました。新しい環境で働くことに始めは不安や緊張もありましたが、スタッフの方々からサポートをいただき、やりがいを感じながら日々看護をすることができています。国立病院機構では統一された教育プログラムがあり、異動した後もキャリアを引き継ぎ継続して教育を受けることができ、これまでの経験を糧に仕事に励んでいます。

特定行為研修

『治療』と『生活』の 両面からの貢献を目指す 山本 美紀



特定行為看護師になることで、急性期医療にとどまらず、在宅医療など活躍できる幅が広がり、『治療』と『生活』の両面から貢献できます。特定行為研修での学びを活かし、特定行為看護師の育成、特定行為看護師の知識を生かしたスタッフ教育も頑張りたいと思っています。

専門性の高い知識や 技術の習得 岸本 規佐



特定行為研修は専門性の高い知識や技術を習得できる研修制度です。また、特定行為看護師になることでスキルアップだけでなく、質の高い医療提供が可能になります。タイムリーかつ迅速に適切な看護を提供できるように日々研修を頑張っています。

交通アクセス



- 電車
山陽新幹線・JR「姫路駅」または山陽電鉄「姫路駅」下車、徒歩約20分
または路線バスにて約5分（1.6km）「医療センター前」下車
- 自動車
→ 国道2号線から北へ0.5km
→ 中国自動車道「福崎インター」から播但連絡道を南へ15km
→ 山陽自動車道「姫路東インター」から国道372号線を西へ5km

ロケーション

当センターは世界遺産姫路城に隣接し、交通至便な姫路市の中心にあります。
また神戸・大阪・京都にもアクセスが良く、休日のお出かけなどプライベートも充実した日々を過ごせます。



働く
ママとパパを
バックアップ！
😊

●しらすぎ保育所

病院の敷地内にあり、小さなお子さんがある方も安心して預けることができます。



●病児保育室

経験豊かな専属看護師が在席しているので、勤務に専念できる環境です。



Challenge × Enjoyment



独立行政法人国立病院機構

姫路医療センター

〒670-8520 兵庫県姫路市本町68番地

TEL : 079-225-3211 <https://himeji.hosp.go.jp>

姫路医療センターはこちら



インターンシップはこちら

